

幼児期における 定型的身体表現の獲得過程

西 洋 子
本 山 益 子

研究目的

幼児が、親や保育者などとの関わりの中で、定型的身体表現を身につけることは、対象の特性を自分の動きによって認識する点や、共通の象徴を介して仲間と交流する点などにおいて有意義である。そのことはまた、身体表現の領域での”社会化”の一過程とも受け取られ、その表現方法はもとより、獲得の過程や集束の状況は、多分に文化・社会的な影響を受けると考えられる。一方、獲得された定型表現は、子ども自身の経験や想像の世界の拡がり、あるいは動きの発達等といった種々の発達の統合にもなっており、やがては表現対象と自発的に向き合い、あるいは新たな対象を独自の方法で表現しようと試みることへの発展が期待される。そのような過程では、特に幼児期の発達の方向性を見据えた援助が肝要となろう。本研究は、幼児期の身体表現活動を適切に援助するための基礎的資料を得る目的で、まず研究Ⅰとして、幼児期の定型的身体表現のあり方、並びにその獲得過程と発達段階の関係について検証した。次に研究Ⅱとして、定型的身体表現の発展の可能性に関して検討した。さらに、得られた結果等から、身体表現に”社会化”をもたらす外的要因に関して、若干の考察を試みた。

研究方法

対象は、岡崎市、鯖江市の公立及び私立の保育園に通園する3～5歳児79名であった。表現の題材は①幼児期の生活に身近で頻繁に表現の題材とされていること②各題材が固有の基本的な動きで表現されると予測されること、という観点から、①花②鳥③汽車④うさぎ⑤こま⑥猫の6種類を選択した。研究Ⅰでは、検者は個々の対象児と「卵」を題材とした5分程度の表現遊びを行い、言語による指示が十分に理解されたと判断した後、課題を①～⑥の順に提示した。提示方法は、(1)名称のみ(2)名称+動きの言葉(3)名称+動きの言葉+擬音語、擬態語の3段階を設定し、対象児が表現を行わない場合に段階を進めることとした。研究Ⅱでは、①花に関して、対象児に約20種類の花を見せ、気に入った花を観察した後にその花を表現する、②鳥に関して、これまで観たことのある鳥について話を聞いた後にその鳥を表現する、といった手順で、表現対象により密

着した「延滞模倣」を促進する方法で行った。収録は1996年の8月～9月、VTR及びスチールカメラを用い、各園の遊戯室等充分な広さのある場所で行った。

結果及び考察

収録した映像を、下表に示した観点で分類したところ、今回選択した題材には、個々に特徴的な動きのパターンがあることが確認された。それらを各題材の定型表現と位置づけると、その獲得過程や集束の状況は、題材によって様々であった。例えば①花については、「立位-非移動-手首を合わせ指先を開く」が最も多く行われ、しかも加齢に伴い獲得される割合が高い結果となった。特に「非移動-手首を合わせ指先を開く」は、4歳児では79%、5歳児では86%の割合で行われた。また、3歳児においては、「手首を合わせ指先を開く」動きの出現が女児では10名中7名であったのに対し、男児では全く行われず、題材によって社会的な性差の影響を強く受けることが示唆された。さらに姿勢に関しては、「座位」をとる幼児がひとつの園の4歳児クラスに多く集中したことから、定型表現の獲得に与える、園ならびに保育者の影響が推察された。また、研究Ⅱの①花の結果を示す下表からは、全ての年齢で定型表現以外への動きの拡がり認められた。特に4歳児以降でその傾向が顕著であることから、「延滞模倣」を促進させる援助の適時性が今後の課題として示唆された。また、その際の変化として、男児においては「手のひらを合わせる」動きが、女児においては「手の形はそのまま」動きが多くみられ、定型表現への固定化の度合いにも性差が存在する可能性が認められた。なお、個々の題材の詳細に関しては、別に資料を配布する。

研究Ⅱ 課題「花」Post.

● 男児
○ 女児

| 年齢 | | 3歳児 N=20 | 4歳児 N=29 | 5歳児 N=30 |
|--------|---------------------------------|--------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 表現 | 名称のみ | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○ | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○○○○○ | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○○○○○ |
| | 名称、動きの言葉 名称、動きの言葉 擬音語、擬態語 | | | |
| 行わない | 行わない | ● | ● | |
| | 姿勢 | | | |
| 姿勢 | 臥位 | ○● | ○ | |
| | 座位 | ○○○ | ●●●●○○○ | ●●● ○○ |
| | 膝立ち位 | | ●● | |
| 移動 | 立位 | ●●●●● ○○○○○○ | ●●●●●●● ○○○○○○○ | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○○○ |
| | 非移動 | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○ | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○○○○○ | ●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○○○○○○ |
| 特徴的な動き | 移動 | ○ | | |
| | 手首を合わせ 指先を開く | ○○○○○○○○ | ●●●●●● ○○○○○○○ | ●●●●●●● ○○○○○○○○○○ |
| | 手のひらを 合わせる | ●●●●● ○ | ●●●●● ○○ | ●●●●● |
| | 腕を伸ばす | | ○○○ | ○ |
| | 指を動かす | ●○○ | ●○○○○ | ●○○○ |
| | 膝を抱える | ●● | | |
| | 手を頭に置く | ● | ○ | ○ |
| その他 | | ○○ | ●● ○○ | |